

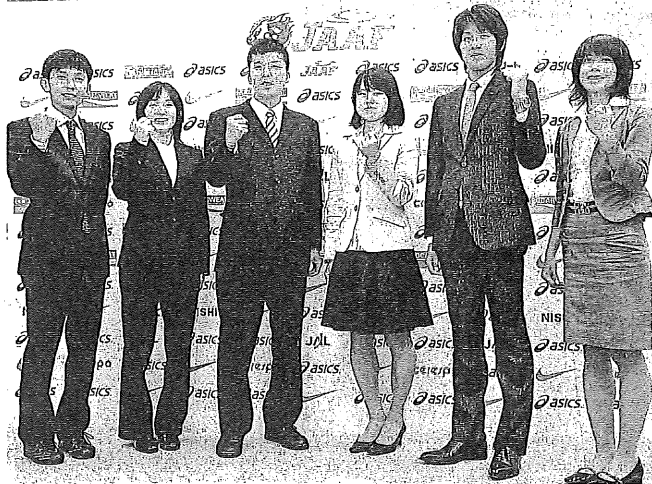
2009 年度

チーム 3 人目の世界大会代表

世界陸上

瀧瀬 (大塚製薬) 代表入り

女子競歩「入賞目指す」



日本陸連は7日、世界選手権(8月・ベルリン)マラソン代表の最後の枠に、男子は佐藤敦之(中国電力)、女子は赤羽有紀子(ホクレン)を選出したと発表した。補欠は男子が高橋謙介(トヨタ自動車)、女子は森本友(天満屋)となった。競歩代表も決まり、女子は大塚製薬の瀧瀬真寿美(兵庫県船路市出身、鳴門市在住)ら3人が選ばれた。

世界選手権の代表に選ばれた、左からマラソンの佐藤敦之、赤羽有紀子、競歩の山崎真喜、瀧瀬真寿美、森岡紘一、川崎真裕美の名選手ら7日、東京都渋谷区

マラソン 男子・佐藤 女子・赤羽を選出

マラソン代表は既に3月までの国内選考会で入船(カネボウ)波井陽子(三井住友海上)ら男女各4人を選んできたが、これで各5人の代表が出そろった。最後の枠は4月のロンドン・マラソンの結果も考慮し、佐藤は2時間9分16秒で8位に入った走りが認められた。1月の大阪国際で2位だった赤羽は、タイムやレース内容でロンドン8位の森本の評価を上回った。長距離・ロード特別対策委員会の木内敏夫委員長代行はマラソンでの目標を「メダル1、入賞1か2」と掲げた。瀧瀬は1月の日本選手権女子20歳で日本新記録(1時間28分3秒)をマーク。龍谷大を卒業し、4月からは「ランとウォークの両方ができる」と大塚製薬陸上部に入り練習をしている。2007年の世界陸上にも日本代表として出場したが、27位に終わった。

(佐川急便) 藤沢勇(山梨学院大)鈴木雄介(順大)、女子が川崎真裕美、大和久美(ともに富士通)。
瀧瀬真寿美の話 去年は(北沢)五輪に出場できず、ベルリンに向けて一生懸命練習してきた。入賞を目指して頑張りたい。